

今日のテーマは、

- 人の知識のスキーマという構造を体験し、
- 協調するとなぜいいのか、その仕組みについて協調的に探る

ことです。協調するとなぜいいのか、その仕組みが分かると、それぞれの先生が自分の授業のどういうところに協調活動を入れたらいいか判断できるようになり、協調活動の目的や狙いが自分で決められるようになると思います。

今日、皆さんに活動を通してお伝えしたいことは、認知科学の専門用語で言うと、次の4点です。

1. 人は知識を使って学習しています。
2. その知識は、スキーマと呼ぶ構造を持っています。
3. スキーマという知識構造には、メリットもデメリットもあります。
4. 協調活動は、スキーマのそのメリットをうまく活用しようとする活動です。

しかしこれでは意味不明だと思います。まず「スキーマ」という言葉の意味がつかみにくいですね。今日は2回のジグソー活動を通して、この1, 2, 3, 4という考え方があることをわかっていただいた上で、皆さんが、現場の先生たちに、「協調活動は、授業の中で、いつ、どんなふうに、どんな狙いで導入すると良いか」をうまく説明できるよう、ひとりひとりご自分の言葉で説明できるようになっていただきたいと思います。それが、今日の活動の狙いです。

活動スケジュールは次のとおりです。

- (1) 最初に「協調的な学習活動の利点、活用の仕方」についてグループで話し合います。
- (2) ついで、スキーマとはどんなものか、導入の説明をします。
- (3) 次に、「人の認知活動の原理原則」を理解するための『高校生でもわかる認知科学』教材を4つ使って、ジグソー活動をやります。ここでは、簡単な課題を例に提示される「人の認知活動の原理原則」と「人の知識がスキーマと呼ばれる構造を持っていること」とがどんなふうに関係しているか、話し合いながらまとめます。
- (4) さらに、計算 (Calculation) に関する簡単な課題を二つ使って、ジグソー活動をやります。ここでは、「人が協調して課題を解く仕組み」について検討します。
- (5) 最後に二つのジグソーを組み合わせて、協調活動の仕組みを説明し、いつ、どんな時に、どんな狙いで協調活動を授業に取り入れるとうまい学習が起きるのか、一般の先生方に解説するにはどうしたらいいか、話し合っまとめて下さい。

ジグソー活動がどんなものかについては初めに簡単に説明します。

**今日は三宅が欠席です。今日は、途中で2回ほど、そこまでの時点で考えていただいたことを書いていただく時間をとります。文章にさせていただいたものには、後から、三宅を中心に大学発教育支援コンソーシアムのメンバーでコメントをお返ししたいと思います。よろしくお願いします。